

第71回国民体育大会

希望郷いわて国体本大会

平成28年10月1日開幕

冬季大会 平成28年1月27日開幕

情報1 24試合を実施!

本市では、サッカー競技少年男子が開催され、5日間で全24試合が実施されます。

サッカー競技少年男子 開催期間

平成28年10月2日(日)～6日(木)



情報2 会場は3カ所!

競技会場は、①遠野運動公園陸上競技場(天然芝)②遠野運動公園多目的運動広場(天然芝)③市国体記念公園市民サッカー場(人工芝)の3カ所です。グラウンドは、平成25・26年度にかけて改修済み。今年度は、遠野運動公園陸上競技場管理棟など競技会場周辺施設の改修工事を行っています。



★①



★②



★③



アクセス

①遠野運動公園陸上競技場②遠野運動公園多目的運動広場→遠野市青笹町榊前11-1、JR遠野駅から車で10分 ③市国体記念公園市民サッカー場→遠野市松崎町白岩字地森80、JR遠野駅から車で5分

Pick Up! 1

遠野市は サッカー競技少年男子の開催地です!

特集

国体まで、あと1年。

来年10月に開幕する「希望郷いわて国体」。本市は、サッカー競技少年男子の開催地です。1年後には、全国からサッカー選手、応援団、大会関係者など多くの方が遠野を訪れます。「サッカーのまち遠野」として感動の国体を創り上げるために、私たち市民にできることは一。



昭和45年の第25回大会以来、46年ぶり、2巡目となる国民体育大会(以下、国体)が、平成28年に本県で開催されます。当時の国体は、32競技、約2万1千人の選手や関係者が集結し、本県のスポーツ史に輝かしい1ページを刻みました。本市は、サッカー競技会場として、全56チームの白熱した戦いが繰り広げられ、私たちに感動を与えました。国体開催を契機に、スポーツがもたらした影響力は絶大。市民サッカー場が整備されたことで、市民が気軽にサッカーを楽しめる環境が整ったことや、子どもから大人まで各世代が切磋琢磨するサッカーチームが結成されたことなど。サッカーに寄せる関心が高まり、本市が「サッカーのまち」として全国に知れ渡りました。あれから46年。来年の国体も本市はサッカー競技の会場に決定。市は、国体開催推進室を立ち上げ、会場整備やボランティアスタッフの育成に力を注いでいます。いよいよ国体まであと1年。全国から、本市を訪れる選手や応援団の皆さんをもてなし、感動の国体にするために、私たちにできることは何でしょうか。

思い出 昭和45年岩手国体

あの感動をもう一度。

昭和45年は、第25回国民体育大会の開催地が岩手県となった輝かしい年である。あれから、46年。来年は、あの感動が再びやってくる。あの時の市内の熱気を振り返り、再びこの地に感動を呼び起こそう。



1_市内中学生320人によって引き継がれた炬火リレー 2_中央通りを行進するパレード 3_遠野小にて、しし踊りなどの郷土芸能で選手や観光客をおもてなし 4_遠野小鼓笛隊の演技が開始式を盛り上げた

遠野市の熱気

サポーター 1,000枚のポップ和紙の葉でおもてなし
遠野緑峰高農業クラブ草花研究班

「改良を重ねてできた自慢のポップ和紙を葉にして、選手や観光客に届けたい」と語る同クラブ代表の多田^{しゅうま}柊馬(2年)さん(後列左)。彼らは、国体までに1,000枚の葉を作成します。葉には同校で育てた花を押し花にあしらひ、市民と協力して一枚一枚メッセージも添える予定。全国にその名を轟かせているポップ和紙で、遠野らしいおもてなしが実現します。



一枚一枚、心込めて作る生徒



のぼりや横断幕で選手にエールを送る

遠野高1学年(代表:鍋城^{かじょうさい}祭実行委員会)

1学年141人が考案したのが手作りののぼりと横断幕。選手へのメッセージや県内の特色も描いたユニークな作品です。同会の松田^{れい}澪さん(後列左)は「選手の励みになるような作品に仕上げたい」と意気込みました。のぼりや横断幕は、いよいよ来月開催の競技別リハーサル大会(P13参照)で試合会場に飾られ、会場を彩ります。



アイデア満載ののぼり製作



サポーター 国体ポロシャツでPR

東北銀行遠野支店(以下、東銀)⑥、盛岡信用金庫遠野支店(以下、盛信)

東銀では7月下旬から外勤職員が着用し、盛信では8月から窓口のスタッフ^{よういちろう}が着用し国体をPRしています。東銀渉外課長の村松^{よういちろう}要一郎さんは「国体ポロシャツに限らず、地域とともに国体のPR活動に貢献していきたい」と意気込み、盛信の細川^{あかね}茜さんは「お客様と国体の話題になると、より国体が身近に感じられます」と笑顔で話しました。



国体ポロシャツに対応する細川さん



サポーター 選手や観光客をきれいな花でおもてなし
遠野商工会女性部

毎年、商工会発足記念日に合わせ、花いっぱい活動に取り組んでいる同女性部の皆さん。選手や観光客を美しい花でおもてなししたいと、国体の花いっぱい活動にも参加しています。部員の構成は、40~70代の自営業を営む、おもてなしのプロ。そのおもてなしの力は、花植えや国体ダンスなど、パワフルそのものです。同女性部会長の松田^{かずこ}和子さん(前列中央)は「できることに協力し、遠野らしいおもてなしで国体を迎えたいですね。国体本番まで、市民が一丸となり、楽しみながらサポートしていきましょう」と明るい笑顔で話しました。



①同活動には緑峰高生が育てた花苗を使用。生徒自ら植え方を説明
②手塩にかけて育てた花を一輪車に乗せて参加者の元へ運ぶ生徒

Pick Up! 2

サポーターを紹介!

国体を成功させるためには、サポーターの存在が必要不可欠。現在、市民総参加の取り組みが着々と行われています。サポーターの皆さんの頑張りを紹介します。

市内には、選手や訪れた人を歓迎したいと、国体に向けてさまざまなサポーター活動に取り組み個人・団体・企業があります。子どもからお年寄りまで、世代や性別を問わず「おもてなしをした」という一心で活動にあたっています。活動は、花いっぱい運動や遠野産ポップ和紙で作る葉のほか、熱いメッセージが込められたのぼりなどさまざま。特に、花いっぱい運動は、昭和45年の国体から展開さ



れ、その後も地域活動の一環として、現在まで継承されている活動の一つ。地域の活性化や住民同士の交流の場としても定着しています。高校生が作製するポップ和紙の葉や手作りののぼりは、新たな遠野らしいおもてなしの一つとして、国体の歴史に刻まれようとしています。今後、オリジナルの応援グッズとして、全国から注目されること間違いなしです。国体の舞台で奮闘する選手を支える縁の下の力持ち「サポーター」。全国から大勢の人が集まる国体では、サポーターの力は必要不可欠です。一生の思い出にあなただも国体サポーターとして活動してみませんか。

思い出 昭和45年岩手国体



インタビュー

親と子のように、あの日からの絆は今でも。

民泊受入 鈴木^{とみお}富夫さん・敬子^{けいこ}さん夫妻 =遠野町=

広島県の高校生6人を受け入れたことは、昨日のことのように覚えています。栄養バランスを考えた食事を提供するために講習会も受けました。選手とは、文通などの交流が今でも続いています。まるで親と子のように。2巡目となる国体をまた目の前で見れるなんて感動。来年も精一杯選手を応援したいです。



1_鈴木夫妻の思い出の写真。二人の宝物として今でも大切にしています 2_民泊受入ボランティアのための料理講習会 3_市役所前で花苗を配布する職員。当時も、たくさんの花が飾られ、選手を出迎えた

できること 国体へ参加

1 わんこダンスで参加

試合会場でわんこダンスを踊って国体に参加してみましょう！ 家族や友人と一緒に踊れば、国体もより一層盛り上がります。



2 競技を観戦する

全国トップレベルのアスリートたちが繰り広げる白熱の試合、迫力満点のプレーを観客席で観戦し、会場の熱気と感動を肌で感じてみましょう。



3 運営ボランティアで参加

受付や観客誘導などの運営ボランティアに参加し、国体をより身近で味わってみよう！ 皆さんのサポートで国体は成功します。応募詳細は下記をご覧ください。



運営ボランティア募集！

市は、国体に向けて運営運動ボランティアに参加してくれる個人・団体を募集しています。

★内容 ①選手や観客の来場受付、会場案内②休憩所でのドリンクサービス③会場整理④弁当の引換、空き容器回収⑤会場の清掃活動⑥駐車場の誘導、整理⑦遠野駅、道の駅などでの会場案内など **★募集数** 300人（一日のみでも応募可能） **★募集期間** 本番直前まで **★要件** 市内に在住、在勤、在学している個人または団体 ※中学生以下の場合は、保護者の同意が必要です **★応**

募方法 ホームページまたは市役所本庁舎・とびあ庁舎、宮守総合支所、各地区センターに備え付けている登録用紙に必要事項を記入し、下記まで郵送、持参またはファクスしてください。 **★問い合わせ** 〒028-0592 遠野市東館町8-12 希望郷いわて国体遠野市実行委員会事務局 ☎62-4413 ファクス62-3302 ホームページアドレス：<http://iwatekokutai-tono.jp/>

Pick Up! 3

あなたもサポーターに！

サポーターとして国体に参加し、一緒に感動を味わいませんか？ 国体には、さまざまな形で携わることができます。市民総参加で国体を盛り上げていきましょう！



できること おもてなしの心で歓迎

1 花いっぱいのにまに

多数の来場者が訪れる国体。6ページではサポーターの皆さんを紹介しましたが、この運動は、競技会場や沿道などに飾られるおもてなし運動の一つです。美しい花で本市を彩りましょう。



2 きれいなまに

きれいな場所は心に残るものですよ！ 家や学校の掃除をするように、道路や河川の清掃に取り組みましょう。きれいなまちで、訪れた人を気持ちよく歓迎しましょう。



3 元気なあいさつで

交流は、元気なあいさつから生まれます。「おはようございます」「ありがとうございます」など、明るい笑顔であいさつをし、交流の輪を広げましょう。



できること 復興支援への感謝

1 手作りグッズで応援

学校や地域でのぼりや横断幕を作って、各都道府県の代表選手たちを熱烈応援！ 遠野高をはじめ、市内の小中学校などでは、のぼりを製作し、全国の選手に応援メッセージを送ります。



2 ありがとうを伝える

東日本大震災で、私たちは全国の皆さんから多くの支援をいただきました。国体は全国からたくさんの方が訪れます。「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えるチャンス。全国の皆さんへ復興支援の感謝の気持ちを、言葉やのぼりなどに込めて伝えてみましょう。

3 都道府県応援団を結成

県内の選手のみを応援するのではなく、各都道府県の代表選手たちにも熱い声援を送りましょう。応援は選手たちの何よりの力！ 学校や地域の仲間と、県別の応援団を結成して、選手たちにエールを送りましょう。



市は、国体成功への目標として「歓迎・感謝・参加」の三本柱を掲げています。①訪れた人を温かく迎え入れ、「また来たい！これ、もう一度！」と思えるような魅力ある国体②東日本大震災で多くの支援をいただいた全国の皆さんへの感謝の気持ちを伝える国体③サポーターとして参加する国体。この3つの行動が国体成功へと導くヒントになります。家族や友人を誘って、サポーター活動に取り組んでみませんか？

思い出 昭和45年岩手国体



インタビュー

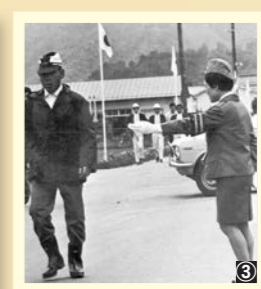
手を叩いて喜ぶ市民の姿に、感動もひとしお

元市国体実行委員会事務局 菅原 志郎さん（中央通り）

国体がまだ浸透していなかった当時、まずは国体とは何かを市民の皆さんに伝えることから始めました。大会当日まで、市民総出で民泊や花いっぱい運動などに

取り組んできましたね。花いっぱい活動は国体以来、継承されている活動の一つです。もう一度、あの感動を市民の皆さんと分かち合いたいです。

遠野市の熱気



1_アナウンスボランティアの女性スタッフ 2_競技会場や宿泊先を案内する受付スタッフ。サッカーボールに見立てた提灯が市内全域にはりめぐされた 3_道行く人を親切に誘導する婦人交通指導員

有力選手 スキー大回転

澤村一輝(27)・祐之介(18)
=市スキー協会所属= =平館高3年=



2人は今年、県予選を兄弟そろって突破し、群馬冬国体に出場を果たした実力者。現在、兄の一輝選手はランニングで基礎体力を強化し、弟の祐之介選手は、フォームづくりなどに励んでいます。いわて国体でも活躍が期待されている

2人は、「兄弟そろっての上位入賞を果たします」と約束してくれました。



仕事や学校を終えると、練習に打ち込む澤村兄弟

有力選手 スケート

濱田芽衣子(19)
=県立大2年=



国体出場経験が高校1年から5回を誇るスピードスケートの濱田選手。ゴールまで決して手を抜かない粘り強さが彼女の持ち味です。国体へ向け、トレーニングはもちろんのこと、食事管理を徹底し、万全の体制を整えています。「国体まであとわずか。課題を克服し、勝利を勝ち取りたい」と気を引き締めました。



休日にもトレーニングをこなしています

有力選手 馬術

山口勝也(31)
=遠野馬の里=



「馬の能力を最大限引き出し、息の合った演技をしていきたい」と意気込む山口選手。これまで8回の国体出場経験を持ち、第63回国体(平成20年大分開催)では、6位入賞を果たすトップアスリート。出場馬の「コンティネン(12歳馬)」とともに人馬一体のレースを繰り広げる山口選手に注目です。



出場馬と練習に励む山口選手

有力選手 サッカー

太田竜雅(20)、菊池朋哉(20)
=どちらも遠野中3年=



遠野中サッカー部主将の太田選手(FW)と副主将の菊池選手(GK)。彼らは、部活動のほか、サッカー選手を強化・育成するための「スーパートレセン(市サッカー協会、NPO法人FCとおの主催)」のメンバーとして、技術力を高めてきました。市内の小・中・高から選抜された選手同士で練習をこなし、より高いレベルのサッカー技術を習得。

国体に向け、太田選手は「地の利を生かし、活躍するプレーをしていきたい」と意気込み、菊池選手は「支えてくれる家族や仲間たちの思いを背負い、堂々とした戦いを見せつけます」と活躍を約束してくれました。



ひたむきにボールを追いかける選手たち



空手道 有力選手

前列左から / 中世古ひかり(釜石高2)、菊池亜美紗(同)、中世古なつき(国士館大2) 後列左から / 佐々木優太(24)、在本幸司(24)、小嶋心誠(釜石商工2)、細川大輔(釜石高2)

「遠野市は、空手道のまち」と言っても過言ではない。本市には、7人もの国体出場が有力視されている選手がいます。彼らは、小学時代から遠野の道場で切磋琢磨してきた仲間たち。国体出場経験がある選手やインターハイ出場を勝ち取った選手まで、全国にも引けを取らない選手ばかりです。

佐々木選手は「目指すは団体・個人でのダブル優勝。常に戦う相手を意識し、日々の練習に励みます」と飛躍を誓いました。

◀優勝を目標に練習に励む選手たち



Pick Up! 4

有力選手を応援しよう!

本市には、いわて国体出場を有望視されている選手がたくさんいます。選手の皆さんは、今日も、国体へ向け努力を重ねています。本市出身の有力選手に、ぜひ声援を!

出身で国体出場が有力視されている選手は現在13人。有力選手たちに共通することは、幼い頃から競技に親しみ、切磋琢磨しながらプレーしてきたことです。練習や試合などを通じて、課題を見つけては克服し、一歩ずつ壁を乗り越えてきたことが国体出場という結果につながっています。

国体で市出身の選手が活躍する姿は、感動や興奮も格別です。その姿は、将来スポーツで活躍したいと羽ばたこうとする子どもたちに、夢や希望を与えることでしょうか。彼らの活躍を願い、私たちの熱い声援で彼らをサポートしましょう。

思い出 昭和45年岩手国体



インタビュー

国体から「サッカーのまち遠野」が飛躍した

サッカー一般の部出場 似内 邦雄さん(旧姓:鳥谷部) =穀町出身=

高校当時、ライバルであった盛岡商高の選手とともに試合に望みました。遠野市は、県内有数の設備が整い、国体後はさらにサッカーがより身近なスポーツに

なると実感。「サッカーのまち遠野」が飛躍しました。来年の国体に向け、選手には、日々の練習に励み「個」の力を強め、県勢一丸となって戦ってほしいです。



1_写真右が似内さん。激闘の瞬間を捉えた一枚 2_岩手県一般チームVS大阪府チーム。試合結果は、一般チーム4位入賞の大健闘を見せた 3_子どもから大人まで夢中で選手たちに声援を送った

Pick Up! 5

希望郷いわて国体
競技別リハーサル大会

第51回全国社会人 サッカー選手権大会

いわて国体本大会の開催をさらに盛り上げるため、
リハーサル大会を行います。
迫力ある試合を、ぜひご観戦ください！

★開催日

平成27年10月17日(土)・18日(日)

★時間 11時～、13時半キックオフ(両日)

★場所 17日(1回戦)/遠野運動公園多目的運動広場、
市国体記念公園市民サッカー場
18日(2回戦)/遠野運動公園多目的運動広場

★出場チーム数 10チーム

★試合数 6試合

リハーサル大会からできるサポート

ポイント 1

★試合を見に行こう！

白熱した国体本番さながらの試合が
間近で見れる絶好の機会です。家族や
友人を誘って、試合を見に行こう！

ポイント 2

★元気なあいさつで交流しよう！

試合会場に行ったら、選手や訪れた
人に明るい笑顔でおもてなししよう！

ポイント 3

★応援しよう！

選手の皆さんは、熱い声援を待って
います！横断幕で応援するなど自分
らしい応援をしてみよう！

問い合わせ

希望郷いわて国体遠野市実行委員会事務局
(☎62-4413内線208)

写真/遠野緑峰高の生徒とボランティアサポーターが手を取り合っ
て、花苗を植えているコマ



国体は選手も あなたも主役

国体まで、あと1年。

昭和45年の国体から、46年の長い月日が流れていても、その当時の感動は決して色あせることはありません。今でも、選手との交流を大切にしている人、国体成功のノウハウを来年の国体へ向けアドバイスしてくれる人。そして、地元選手として懸命に戦い、夢を抱く子どもたちへ、その思いをつないでいる人。語り尽くすことができないほどのストーリーが、国体をきっかけにつむがれてきました。国体を機に、サッカーがより身近なスポーツになったことで、市内のサッカーの技術力は向上し、「サッカーのまち遠野」がさらに躍進。国体開催がもたらした影響は、図りしれません。そして、今、2巡目となる国体成功のために、「遠野らしいおもてなし」に取り組んでいる人々がいます。サポーターの支えがあつてこそ、選手は試合を楽しむことができます。「いつかまた訪れてみたい」と思ってもらえたらうれしいですね。国体は、選手もサポーターも主役です。永遠に語り継がれる国体を目指し、ともに感動を味わいましょう。

◎特集 「国体開催まで、あと1年。」 終わり